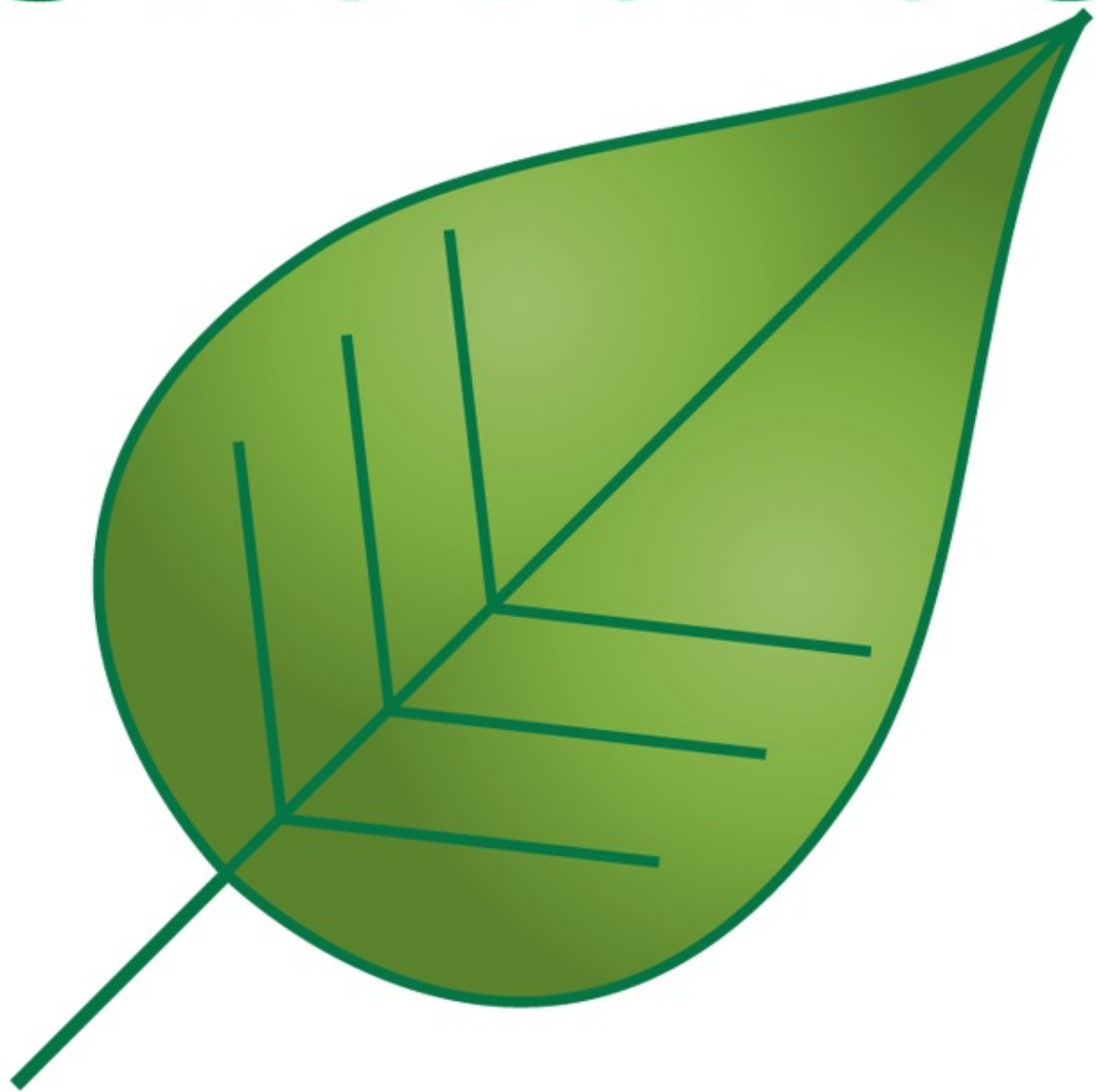


ことのは
@kotonoh



presented by 松永英明

はじめに

このカタログは、松永英明／ことのは／ことのは編集室が制作し、主に文学フリマにて発表した個人誌・冊子その他の制作物の一覧です。新しい順に並んでいます。

この中には最新の文学フリマにて頒布していないものなども含まれていますが、過去の記録として掲載しています。

第13回文学フリマ

第13回文学フリマ

2011年11月3日（祝） 11:00～16:00

東京流通センター 第二展示場にて

【オ-01】 ことのは (kotonoh8)

※今回も【オ-02】 奇刊クリルタイと合体配置です。吉川にちのさんの表紙絵が並びます。

※他の寄稿誌

【E-19】 企画合同誌「男一匹元気が出るディスコ」（略称 O.G.Disco ・ OGD）

SF風小説「ムーンブルクの王女は、また別の話」を寄稿しました。お題として与えられたタイトルをもとにそれっぽい話をでっち上げて書くという企画です。

参照→[男一匹元気が出るディスコ 参加作品紹介第4段:K.K.Theater](#)

参照→[文学フリマ直前 男一匹元気が出るディスコ まとめると:K.K.Theater](#)

【オ-49】 学習院大学表象文化研究会『KTG03』

「少子高齢化時代の選択的夫婦別姓議論と見えないジェンダー意識」を寄稿しました。「姓」に根ざしたジェンダー意識や、「伝統」として捏造されてきた日本人の「家」意識の問題や、少子高齢化の裏に潜む根源的問題について書いています。

参照→[『KTG03』内容紹介 - Together](#)

事物起源探究2011

表紙イラストは「奇刊クリルタイ」誌の表紙でおなじみの吉川にちのさん。

裏表紙は「生まれ年別名前ランキング」99年分データから時代区分が浮き彫りになるカラー年表。

表紙込み全100ページ。

2011年11月3日発行。

Amazonで購入できます！

[事物起源探究2011](#)



特集1【事物起源学宣言！】

事物起源探究を学問としてとらえなおしてみました。その定義、研究内容、ケーススタディによる研究方法、事物起源学の原則・精神、事物起源学用語集などなど。

特集2【言語事物起源学：ことばの発祥と意味】

- ◎「読めてしまうケブンリッジの研究」は実はウソ！《コミPo!マンガ》
- ◎近江商人の「三方よし」——複雑な経緯と意外な発祥
- ◎「就活」ということばはいつ使われ始めたか
- ◎「交通戦争」と「受験戦争」
- ◎「人民の人民による人民のための政治」
- ◎「地獄への道は善意で舗装されている」

特集3【社会事物起源学：風習・しきたり】

【特集1】 事物起源学宣言！ 研究の目的と方法

宇原としこの寄稿

事物起源学とは何か

事物起源学用語集

事物起源学用語集

【特集2】 言語事物起源学 ことばの発祥と意味

「コソコソ」まんが版

「読めてしまおうケンブリッジの研究」は実はウソ！

近江商人の「三方よし」——複雑な経緯と意外な発祥

「就活」ということばはいつ使われ始めたか

「交通戦争」と「受験戦争」

「人民の人民による人民のための政治」
 「地獄への道は善意で舗装されている」

【特集3】 社会事物起源学 風習・しきたり

「生まれ年別名前ベスト10」データによる時代区分色分け年表

「ハロウィン」——ケルトからカボチャまで

「名付け親はセブンイレブン」

「名付け親はセブンイレブン」

※ 既刊案内

※ 編集後記

※ 編集後記

※ 編集後記

05

06

13

19

20

25

36

46

48

60

69

70

76

82

88

第12回文学フリマ

第12回文学フリマ

2011年6月12日（日）

11:00～17:00

大田区産業プラザPiO

【エ-01】 ことのは (@kotonos8)

【エ-02】 奇刊クリルタイと合体配置。2冊以上購入で缶バッジプレゼント実施。

※寄稿

【エ-02】 奇刊クリルタイ増刊「**dorj Vol.2**」に、エッセイ「涙の陸上部」を寄稿しました。

※主催

第12回文学フリマ非公式スタンプラリーを実施しました。全14サークル参加。



※参加

【U-20】 「文学フリマお試し企画」に参加して宣伝しました。

2011年6月12日発行。



Amazonで購入できます！

[東日本大震災でわたしも考えた](#)

【第一部】行動編 わたしも歩いた、やってみた

- 帰宅困難者&帰宅ログ わたしは知らない場所で帰宅困難者になった
- やれることは個人にもある 「今わたしにできること」なので震災後に「わたしがやったこと」
- 被災地の産物を買って応援しよう 「被災地アンテナショップ」都内・横浜全店ガイドブック

【第二部】考察編 考え直す、問い直す

- オール電化も高層住宅も問題だった 「電気文明」と「高層緑化型都市計画」を問い直す時代の始まり
- 「がんばろう日本」に違和感はありませんか？ 「災害ユートピア」と「震災ナショナリズム」
- 場所の記憶と土地の歴史 被災地のゲニウス・ロキ—「災害の記憶」と「離れがたい心情」
- 二十三年の時間差が歌詞に違いを生んだ 斉藤和義「ずっとウソだった」はキヨシローへのア

【第三部】デマ・トンデモ編 疑ってみる、確かめる

- どんなデマ・流言が流れていたのか？ 震災後のデマ100件を分類整理してみた
- 医師・看護師は患者を見捨てていなかった 福島・双葉病院「患者置き去り」報道の悪意
- あの震災は本当に《天罰》だったのか？ 石原"不謹"慎太郎の「津波は天罰」発言を批判する
- 大震災を「地震兵器」と結びつけたがる人々 「地震兵器」説の徹底分析と致命的欠陥、陰謀論の本当の危険

【第四部】ネタ編 笑って、許して

- 「日本」の首都を「日本」にしよう！ 「日本全国首都化計画」政府案。首都機能を日本全国に分散！
- 元号を変えて人心一新——大震災復興への気分を変えるために「災異改元」はいかが？

【コラム】

- 「放射能」という言葉
- 被災地での「社会起業」
- ギララ対メカギララ
- 「地獄への道は善意で舗装されている」の起源

東日本大震災でわたしも考えた		目次
はじめに 東日本大震災でわたしも考えた		4
【第一部】行動編 わたしも歩いた、やってみた		
帰宅困難者も帰宅ログ	わたしは知らない場所で帰宅困難者になった	8
やれることは個人にもある	「今わたしにできること」なので震災後に「わたしがやったこと」	16
被災地の産物を買って応援しよう	「被災地県アンテナショップ」部内・横浜全店ガイドブック	23
【第二部】考察編 考え直す、問い直す		
オール電化も高層住宅も問題だった	「電気文明」と「高層緑化型都市計画」を問い直す時代の始まり	36
「がんばろう日本」に違和感はありませんか？	「災害ユートピア」と「震災ナシヨナリズム」	42
被災地のケニウス・ロキ	「災害の記憶」と「離れがたい心情」	52
二十三年の時節感必書に逢いを生んだ	斉藤和義「ずっとウソだった」はキヨシローへのアンサーソング	56
【第三部】デマ・トンデモ編 疑ってみる、確かめる		
どんなデマ・流言が流れていたのか？	震災後のデマ100件を分類整理してみた	62
医師・看護師は患者を見捨てていなかった	福島・双葉病院「患者置き去り」報道の悪意	74
あの震災は本当に《天罰》だったのか？	石原"不謹"慎太郎の「津波は天罰」発言を批判する	82
大震災を「地震兵器」と結びつけたがる人々	「地震兵器」説の徹底分析と致命的欠陥、陰謀論の本当の危険	88
【第四部】ネタ編 笑って、許して		
「日本」の首都を「日本」にしよう！	「日本全国首都化計画」政府案。首都機能を日本全国に分散！	94
元号を変えて人心一新	大震災復興への気分を変えるために「災異改元」はいかが？	98
【コラム】		
放射能」という言葉	被災地での「社会起業」	55
ギララ対メカギララ	「地獄への道は善意で舗装されている」の起源	87
編集後記		104

第11回文学フリマ

第11回文学フリマ

2010年12月5日（日）

11:00～終了16:00

大田区産業プラザPiO

【エ-35】 ことのは (@kotonos8)

※電子書籍

電書部の販売システムを利用して、既刊電子書籍2冊を販売しました。

- ・『初の「軍艦島上陸ツアー」参加記録2009——グラバー・岩崎弥太郎と近代化遺産』改訂版（第1回電書フリマにて初出）
- ・『アジアの光』（第10回文学フリマにてCD-ROM販売）

※インタビュー

【エ-14】 奇刊クリルタイ「奇刊クリルタイ5.0」特集「インターネットと人」

松永英明インタビューが掲載されました。

※寄稿

【ア-01】 .review 『.review 002』

前回に引き続き、プロジェクト.reviewに投稿した論考の中から2本が掲載されました。

- ・歌枕からオタク系聖地巡礼をつなぐゲニウス・ロキ
- ・アーティストのプロモーション戦略論2「女子十二楽坊はなぜ失速したのか」おニャン子・ハロプロ・AKB48、そして少女時代 vs. KARA の戦略比較

2010年12月5日発行。A5・表紙込み68ページ（本文64ページ）。

- 特集「日本」の起源を探る
 - 一 国生み神話と北海道・沖縄
 - 二 日本の「起源」はいくつもある
 - 三 「縄文人」という名の幻想、日本列島の多様性
 - 四 日本人のはじまりをアフリカから始める
 - 五 呉越の子孫と倭国
 - 六 邪馬台国から神武の時代
 - 七 「日本」が誕生した飛鳥時代
 - 八 近代日本の成立
- 日本の国号についての古い記述
 - ■国号■日本■ひのもと■日出国■日域
 - 日東／烏卵■葦原中国■瑞穂国■やまと■野馬台■浦安国／細戈千足国／磯輪上秀真国／玉牆内国／虚空見日本国■秋津島
 - 磯城島■神国■皇国■倭国■東海女国／姫氏国■扶桑国■君子国■阿每郷

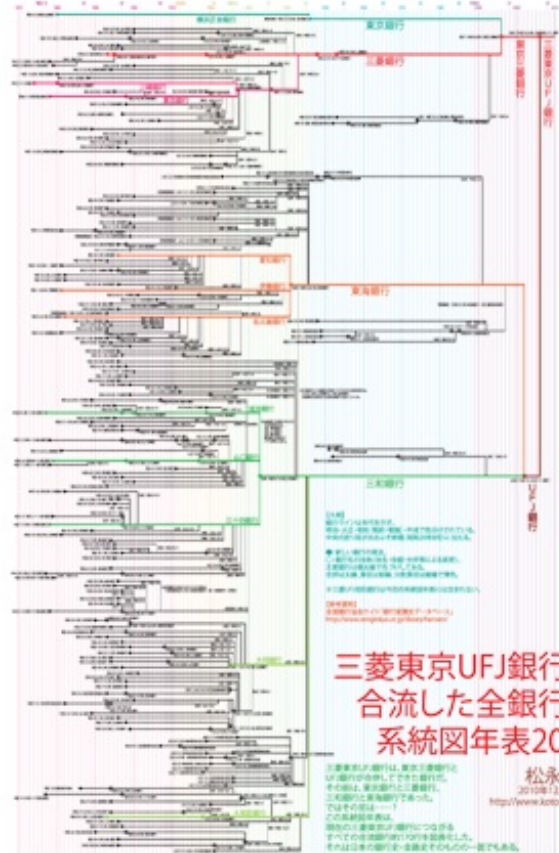


A2判「三菱東京UFJ銀行に合流した全銀行系統図年表2010」

三菱東京UFJ銀行は東京三菱+UFJ銀行。その前は、東京銀行+三菱銀行と東海銀行+三和銀行。ではその前は？ データベースをたどると明治以来、全部で約170行が合流していました。そのすべてを盛り込んだ系統図年表。これだけのサイズになると、電子書籍では拡大すると一部分しか見られず、縮小すると細部が見られません。紙ならではの表現といえます。「マップ折り」されていますので、お持ち帰りはA5サイズとなります。

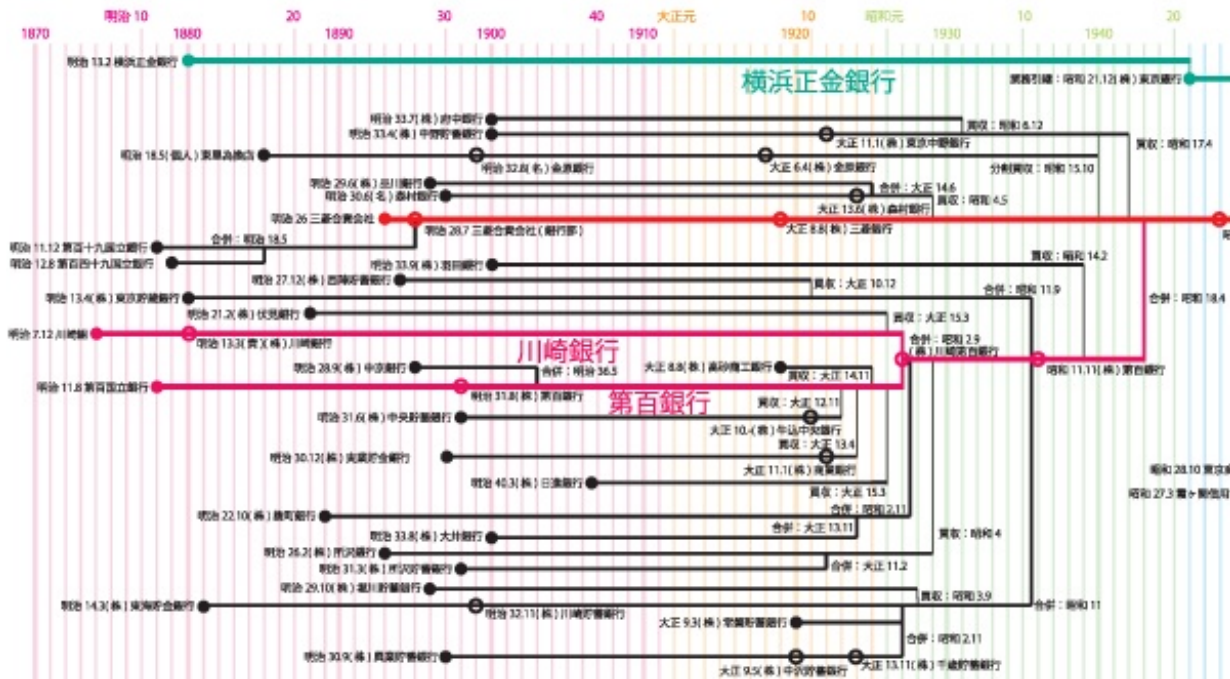
Amazonで購入できます！

[三菱東京UFJ銀行に合流した全銀行の系統図年表2010](#)



三菱東京UFJ銀行に合流した全銀行の系統図年表2010

松永英明
2010年12月5日刊
<http://www.kotonob.com/>



第10回文学フリマ

第10回文学フリマ

2010年 5月23日（日）

11:00～16:00

大田区産業プラザPiO

【U-12】 ことのは (@kotonos8)

※寄稿

【V-11】 .review 『.review 001』

プロジェクト.reviewに投稿していた論考から一本が掲載されました。

・ライフスタイルとしての「小悪魔ageha」と「森ガール」分析

2010年5月23日発行。A5・表紙込み92ページ（本文88ページ）。

- 「事物起源探究」の起源
 - 「事物起源」を探るとのこと——創刊のことば
 - 私はなぜ「事物起源探究家」を名乗るようになったのか
 - 事物起源本レビュー 第一回（速水建夫『事物起源考』魚住書店、紀田順一郎『近代事物起源事典』東京堂出版、楊蔭深『細説万物由来』九州出版社）
- 事物起源をさぐる
 - たい焼きが本当に生まれた年は？「二〇〇九年はたい焼き生誕百周年」説を徹底検証する
 - 「足ツボ」ことリフレクソロジーの起源は中国ではなく二十世紀アメリカだった
 - 「坂本龍馬」伝説はどのように語り継がれてきたか
 - 「近代」再考1：「靖国神社」の教義はいつ生まれた？
- 原典発掘
 - 芥川龍之介『蜘蛛の糸』の原典、ポール・ケーラス『カルマ』全訳



※第13回文学フリマでは販売いたしません。関心のある方は直接お問い合わせください。今後、ブックログのpapierで販売するかもしれません。

1891年に発行された英語によるブッダの叙事詩、エドウィン・アーノルド著『アジアの光』の完全訳を、今回Amazon Kindle 対応PDF電子書籍版としてCDにて頒布します（当面オンラインでの販売はありません）。これは某出版社にて発売される予定でしたが、翻訳が完成した時点で編集者が退職するなどの事情によりお蔵入りしていた完成原稿で、かなり文字数も多いため文学フリマへの出品もためらっていましたが、今回、アマゾン・キンドル対応の電子書籍という形で限定販売することとしました。

このPDFにはフォントが埋め込まれていますので、日本語ハックを行っていないキンドル（つまり通常の状態）でもきれいに日本語が表示されます。もちろん、PCやiPad等でも普通にPDFファイルとして読めます。なお、キンドル用に読みやすいようにフォントなどかなり試行錯誤しましたが、最終的に[青空キンドル](#)で使われている「青キン明朝」フォントを使わせていただきました（このあたりの試行錯誤については改めてまとめます）。

アーノルドの『アジアの光』は当時の「仏教入門書」として有名となった本で、ガンジーも愛読し、ジェームズ・アレンも引用しているという名著です。ただし、日本では戦後まったく翻訳が出ていません。もし出版社の方がここをお読みでしたら、ぜひ出版計画をご検討いただければと思います。

- はじめに
- 訳者まえがき・解説
- 第一章（ブッダの出生と少年時代）
- 第二章（シッダールタ王子の結婚）
- 第三章（四門出遊＝老病死を知る）
- 第四章（シッダールタ王子の出家）
- 第五章（苦行、ピンビサーラ王）



- 第六章（覚醒を得てブツダとなる）
- 第七章（ブツダとして帰国する）
- 第八章（ブツダの説いた教え）

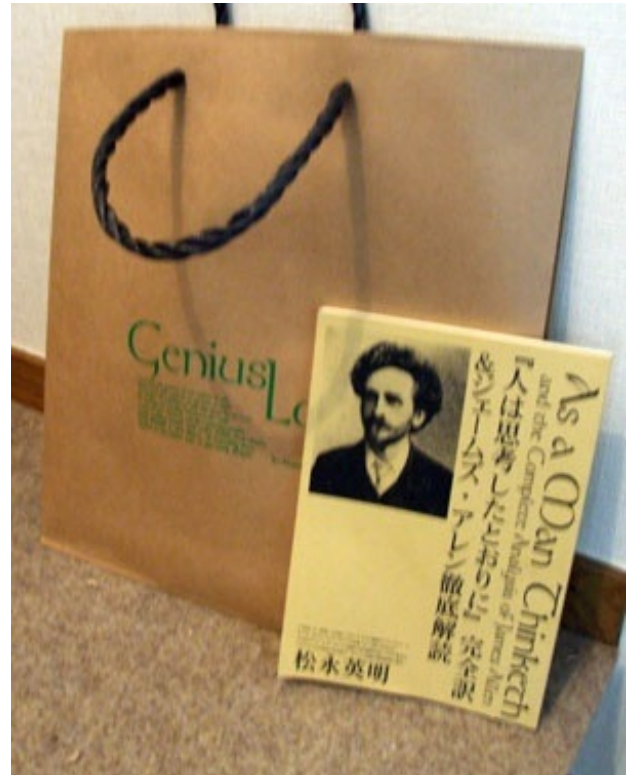
なお、今回のPDFはCD-Rにて頒布します。

ゲニウス・ロキ手提げ紙袋

※第13回文学フリマでは頒布いたしません。第14回では頒布するかもしれません。

第9回の文学フリマに参加して見かけたのが、「とりあえず文学フリマに来てみたら、意外といろいろな本を買ってしまって、どうやって持って帰ろうか」と困っている人たちでした。そして、隣のブースだったトルタさんのビッグサイズ紙袋が好評だったので、今回は手提げ紙袋を作ってみました。

日常的に使えるようなシックなデザインにしてみましたので、文学フリマ以外の用途にもお使いいただけます。なお、文学フリマで売れるのは広い意味で文学に属するもの、という規定がありますが、デザインには英文の詩の引用があるため、広い意味での文学グッズということで.....。



第9回文学フリマ

第9回文学フリマ

2009年12月 6日（日）

11:00～16:00

大田区産業プラザPiO

【S-3】文学蚤市ことのは2009

※寄稿

『本当はこの文章系同人がすごい』に寄稿しました。

『原因と結果の法則』の邦訳名で有名な、ジェームズ・アレンの "As a Man Thinketh" の完全訳『人は思考したとおりに』、そしてこれまで商業出版として五冊のアレン本を翻訳した経験をもとにジェームズ・アレンの思想を徹底解説します（特に、他の成功哲学との違いを明確に示します）。A5・表紙込み84ページ（本文80ページ）。



『人は思考したとおりに』
and the Complete Analysis of James Allen
As a Man Thinketh
&ジェームズ・アレン徹底解説
完全訳

「原因」と「結果」の法則」のタイトルでの翻訳がベストセラーとなっているジェームズ・アレンの名著『As a Man Thinketh』。これまでジェームズ・アレンの著書3冊を翻訳出版してきた英訳者、このアレンの代表作的な著作と、アレンの思想の徹底解説に携わ。

松永英明

- 1 ◆ 『人は思考したとおりに』（As a man thinketh）完全訳.....04
 - 序.....04
 - 第一章 思考と人格.....05
 - 第二章 環境に対する思考の影響力.....09
 - 第三章 健康と身体における思考の効果.....24
 - 第四章 思考と目的.....27
 - 第五章 達成における思考の要素.....30
 - 第六章 ヴィジョンと理想.....35
 - 第七章 落ち着いた心.....41
- ジェームズ・アレン略歴.....44
- 2 ◆ ジェームズ・アレン徹底解説.....50
 - ■ 「思考」という訳語を選んだ理由.....51
 - ● ジェームズ・アレンは「望めばかなう」などと言っていない
 - ● 日本語の「思い」は「願いごと」のニュアンスも含む
 - ■ アレンとワトルズ.....54
 - ● ニューソートとジェームズ・アレン
 - ● ワトルズの一元論と成功哲学
 - ● 一元論の宇宙観
 - ● アレンとワトルズの違い
 - ● プロセスでの善か、その根源の心の状態か
 - ● 黄金律という言葉
 - ● アレンの考える「成功」
 - ■ 日本語での翻訳にまつわる問題点.....66
 - ● 日本語版で削除された内容
 - ● 出版社の意向・翻訳者の考えとアレンの衝突
 - ■ 『人は思考したとおりに』各章解説.....70

- 松永英明によるアレン翻訳一覧.....76
- ジェームズ・アレンの著書一覧.....80

※このカレンダーは現在一般頒布を行なっておりませんが、少々在庫がありますので、欲しいという方はご連絡ください。

メールマガジン「場所の記憶」「都市の歴史」で社会を読み解く——松永英明のゲニウス・ロキ探索」も1周年を迎え、2009年11月の時点で60号を配信するに至りました。そこで今年は、あちこち歩き回って撮影した写真でカレンダーを作ってみることにしました。



写真はすべて松永英明撮影。カメラはFinePix S-9000。

- 表紙：軍艦島（端島）
- 1月：富士山
- 2月：清瀬
- 3月：佃
- 4月：春の小川
- 5月：多摩蘭坂
- 6月：同潤会上野下アパート
- 7月：下北沢駅前市場
- 8月：松代大本営跡
- 9月：下北沢ジャズ喫茶マサコ（閉店前日撮影）
- 10月：同潤会三ノ輪アパート
- 11月：軍艦島（端島）
- 12月：碓氷かずお邸

第5回文学フリマ

第5回文学フリマ

2006年11月12日（日）

11:00～16:00

東京都中小企業振興公社 秋葉原庁舎 第1・第2展示室

【A-79】@ことのは

文学フリマ初参加。同人誌即売会への参加自体が初めてであった。

なお、この後は抽選漏れなどでしばらく間が空くこととなった。

比叡山炎上／大僧正天海の素性を探る

※第13回文学フリマでは販売いたしません。が、大量に余っておりますので欲しい方はご一報ください。

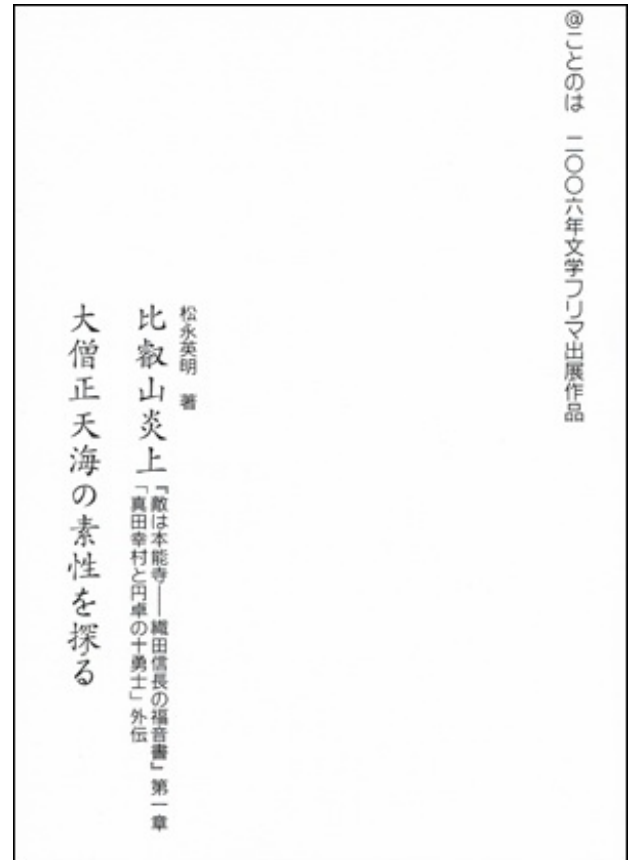
正式なタイトルは『@ことのは 2006年文学フリマ 出展作品』。1冊に以下の二つの内容が入っています。

- 「比叡山炎上」
 - 『敵は本能寺——織田信長の福音書』の第一章。歴史ファンタジーもの。これは「真田幸村と円卓の十勇士」の外伝にあたる。参考文献：山本ひろ子『異神』
- 「大僧正天海の素性を探る」
 - 史実における慈眼大師天海僧正の素性を明らかにする。須藤光暉『大僧正天海』 富山房 大正8年 より「考異」を現代語訳。

表紙込み44ページ（本文40ページ）で400円（税込）

。どれくらい売れるものなのかわからないので、当

日は80冊印刷したが、25冊ほどしか売れなかった。その後も既刊として並べるもほとんど売れず、第12回のスタンプラリー特典として無料配布したりした。まだ残っている。



松永英明@ことのは 文学フリマ出品冊子カタログ

<http://p.booklog.jp/book/38096>

著者：松永英明

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kotono8/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/38096>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/38096>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.